

学校教育学専攻在籍院生研究活動状況一覧

2012年1月1日から2012年12月31日までの間に発表されたもので、本人より申告されたもののみを記載した。(※は国外で発表・報告されたもの)

《教育内容方法学分野》

小嶋季輝 (教育工学)

〈論文〉

- ・「学習のヴァナキュラム」, 『教育方法学研究』(教育方法研究会) 第17集, 2012年3月, 163-175.

野澤有希 (カリキュラム)

〈論文〉

- ・「A小学校のくなくよし運動」の評価と改善に関する研究—CIPPモデルの視点を手がかりに—『日本特別活動学会紀要』第19号, 日本特別活動学会, 2012年3月39-48頁
- ・「カリキュラム評価におけるCIPPモデルの役割に関する研究—教育的ニーズ把握を中心に—」『筑波教育学研究』第9号, 筑波大学教育学会, 2012年3月37-50頁
- ・「カリキュラム評価におけるCIPPモデルの意義に関する研究—意思決定に情報を提供する視点を中心に—」『比較教育学研究』第45号, 日本比較教育学会, 2012年6月137-156頁

《教科教育学分野》

石崎友規 (理科教育学)

〈論文〉

- ・「科学的探究における『検証可能な問いの生成』を指向した理科教材—

BSCS 生物『探究への招待』の分析をもとにして一, 『教材学研究』(日本教材学会), 第23巻, 2012年3月, 67-74頁

〈学会発表〉

- ・「科学的探究における『根拠の重要性』の理解を目指した理科教材 — BSCS 生物『探究への招待』の事例から —」, 日本教材学会第24回研究発表大会, 福山大学, 2012年10月20日
- ・「『探究のナラティブ』による理科授業の展開 — 探究の全体像の教授—学習とシユワブの探究観—」, 日本理科教育学会第51回関東支部大会, 東京学芸大学, 2012年12月2日

〈その他〉

- ・「シユワブの探究学習論における安定的探究 (Stable Enquiry) の特質」, 『日本科学教育学会研究会研究報告』(日本科学教育学会), 第26巻第5号, 2012年4月, 11-14頁

泉 直志 (理科教育学)

〈学会発表〉

- ・「IDEAS プロジェクトにおけるアーギュメント導入に向けた教師教育の特質 — 教師へのアーギュメントの導入場面を中心として—」, 日本教材学会, 福山大学, 2012年10月20日.

〈その他〉

- ・「アーギュメントの構成要素を取り入れたワークシートの開発と実践」, 『日本科学教育学会研究会研究報告』(日本科学教育学会), 第26巻, 5号, 2012, 1-6頁.

稲田結美 (理科教育学)

〈編著書〉

- ・「第7章 理科の教材と教材研究」, 大高泉・清水美憲編, 『新教職教育講座 第6巻 教科教育の理論と授業Ⅱ 理数編』, 2012年3月, 協同出版, 309頁, 251-264頁

〈論文〉

- ・「プロセス・スキルズの観点からみた観察・実験等の類型化(2) — 小学校理科

教科書に掲載されている観察・実験等について」, 『理科教育学研究』(日本理科教育学会), 第52巻, 第3号, 2012年3月, 179-190頁

〈学会発表〉

・「理科学習における男女差に関する小・中学校の理科主任教員の意識」, 日本理科教育学会第62回全国大会, 鹿児島大学, 2012年8月11日

〈その他〉

・「理科学習に対する女子の意識・態度を改善する教授方法および教材～女子が苦手意識を持つ内容領域を中心に～」(実践研究 講演), 岩手大学男女共同参画推進室主催 2012年度 女性研究者裾野拡大のための教員研修「科学・技術教育と女性～小中高校ではどう取り組むか～」, 岩手大学北桐ホール, 2012年10月9日

榎本哲士 (数学教育学)

〈論文〉

・「中学校数学科における文字式に関する教科内容の分析：概念定義と概念イメージを視点として」, 『学校教育学研究紀要』(筑波大学大学院人間総合科学研究科学校教育学専攻), 第5号, 2012年3月, 59-73項

〈学会発表〉

※“Student's understanding of liner equation in two variables and its solutions”. The 12th International Congress on Mathematical Education (ICME12), Seoul: Korea, 2012年7月14日

・「学校数学における文字式の理解を捉える枠組みの構築：関数的アプローチを視点として」, 第45回数学教育論文発表会 (日本数学教育学会), 奈良教育大学, 2012年11月11日.

遠藤優介 (理科教育学)

〈論文〉

・「『コミュニケーション』コンピテンシーの育成に向けた化学教材—ドイツKMK 化学教育スタンダードの課題事例に焦点を当てて—」, 『教材学研究』(日本教材学会), 第23巻, 2012年3月, 75-82頁。

〈学会発表〉

- ・「ドイツ科学教育におけるコンピテンシーのモデル化」, 日本理科教育学会第62回全国大会, 鹿児島大学, 2012年8月12日。
- ・大高泉・遠藤優介, 「ドイツにおける PISA ショック後の教育政策と科学カリキュラム改革」(課題研究発表), 日本科学教育学会第36回年会, 東京理科大学, 2012年8月27日。
- ・『『評価』 コンピテンシーの育成を指向した化学教材— Chemie im Kontext プロジェクトの教材に着目して —』, 日本教材学会第24回研究発表大会, 福山大学, 2012年10月20日。

〈その他〉

- ・「ドイツバイエルン州レールプランにおける化学教育の目的・目標の分析— KMK 化学教育スタンダードとの関連を中心として—」, 『日本科学教育学会研究会研究報告』(日本科学教育学会), 第26巻第5号, 2012年4月, 7-10頁。

大高 皇 (社会科教育学)

〈編著書〉

- ・「高千穂鉄道の教材化の取り組み」, 井田仁康編著, 『地域と教育—地域における教育の魅力—』, 2012年11月, 第1版, 学文社, 263頁, 124-136

〈論文〉

- ・大高 皇・唐木清志, 「ドイツ・ニーダーザクセン州の学校教育におけるモビリティ・マネジメント」, 『土木学会論文集H (教育)』(土木学会), 第68巻第1号, 2012年7月, 11-22頁。

〈研究・調査報告書〉

- ・「地域の交通の教材化—橋原町の交通史を事例として—」, 井田仁康・「社会科教育学特講」調査報告, 『地域と教育—高知県橋原町—』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科学学校教育学専攻), 第11号, 2012年11月, 126頁, 1-8

〈学会発表〉

- ・「Klafki「鍵的問題」構想による ESD 教育—ドイツ・ニーダーザクセン州を事例として—」, 日本社会科教育学会第62回全国研究大会, 東京学芸大学, 2012年9月29日。
- ・「Engelhard「ルール地帯の構造変化」にみる地理教授の構造化」, 日本教材

学会第24回研究発表大会，福山大学，2012年10月21日。

- ・「高千穂鉄道の教材化の取り組み—「地域と教育」でのフィールドワークを通した教育地理学的分析—」，中等社会科教育学会第31回全国研究大会，筑波大学，2012年11月3日。

大塚慎太郎（数学教育学）

〈学会発表〉

※“An Analysis of Students’ Reasoning in Explaining False Statements”，The 12th International Congress on Mathematical Education, Soul, Korea, July 8th-15th, 2012

- ・「数学学習における『個人の置かれた文脈』に基づく命題解釈の評価」，日本数学教育学会第45回数学教育論文発表会，奈良教育大学，2010年11月10－11日

片岡千恵（学校保健学）

〈論文〉

※Relationships of Youth Risk Behaviors with Norm-Consciousness and Resilience among Japanese High School Students. Open Journal of Preventive Medicine, 2 (3): 306-311, 2012

〈学会発表〉

- ・「保健体育の教員免許の取得をめざす大学生における高校の保健内容の習得状況について (3)」，日本体育学会第63回大会，東海大学，2012年8月22日

勝田 光（人文科教育学）

〈論文〉

- ・「英語圏における90年代以降の読者反応研究の動向—3本のレビュー論文の分析を手がかりとして—」『九州国語教育学会紀要』，第2号，2013年4月，（印刷中）

〈学会発表〉

- ・「学習者に授業を語らせることの意味—学習者の語りの分析を手がかりとして—」，全国大学国語教育学会，筑波大学，2012年5月27日
- ・「文学の授業における『学習者の反応』の理論的検討」，九州国語教育学会，

長崎大学, 2012年9月8日

- ・「学習者に物語を創らせることの意義—反応研究の視点から—」, 筑波大学日本語日本文学会, 筑波大学大塚キャンパス, 2012年9月15日

鎌田公寿 (社会科教育学)

〈編著書〉

- ・「津和地小学校に通う児童の『遊び』にみる学び—子ども・学校・地域の視点から—」, 井田仁康編著, 『地域と教育—地域における教育の魅力—』, 2012年11月, 第1版, 学文社, 263頁, 101-112頁.

〈論文〉

- ・「シティズンシップにおけるケアの位置—Noddingsの理論を手がかりに—」, 『中等社会科教育研究』(中等社会科教育学会) 第30号, 2012年3月, 43-55頁.
- ・「ケアを学ぶグローバル教育の可能性—Noddingsの理論の考察を通して—」, 『グローバル教育』(日本グローバル教育学会) Vol. 14, 2012年3月, 18-33頁.

〈研究・調査報告書〉

- ・「栲原町立栲原学園における福祉教育の展望—地域への参画を見据えて—」, 井田仁康・「社会科教育学特講」調査報告, 『地域と教育—高知県栲原町—』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻), 第11号, 2012年11月, 126頁, 44-55頁.

〈学会発表〉

- ・「ケアを育成するシティズンシップ教育の構想」, 日本公民教育学会第23回研究大会, 東北大学, 2012年6月23日.
- ・「『ケア』による環境教育への貢献—シティズンシップの育成を見据えて—」, 日本社会科教育学会第62回全国研究大会, 東京学芸大学, 2012年9月29日.

國原幸一郎 (社会科教育学)

〈研究・調査報告書〉

- ・「地域のエネルギー資源を利用した環境学習—高知県栲原町立栲原学園の総合的な学習の時間を事例として—」, 井田仁康, 『地域と教育 第11号』(筑波

大学博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻「社会科教育学特講」調査報告」, 2012年11月, 126ページ, 79-100頁.

〈学会発表〉

- ・「高等学校『地理』におけるGISを利用した「地域の結び付き」の学習」, 日本地理教育学会, 麗澤大学, 2012年7月22日
- ・「地理教育におけるGISの活用—中・高等学校における防災学習—」, 日本社会科教育学会, 東京学芸大学, 2012年9月29日
- ・「高校地理における主題図学習—防災の学習を事例として—」, 中等社会科教育学会, 筑波大学, 2012年11月3日

小泉友香 (数学教育学)

〈学会発表〉

- ※Koizumi, Y. & Hino, K. 「Analysis of social interaction supported by a competent teacher in an elementary mathematics classroom: toward stimulating creative mathematical thinking」, The 12th International Congress on Mathematical Education (ICME-12), Seoul, Korea, 2012 July 8th-15th.
- ・小泉友香「熟練教師による『一次関数』の授業にみる発問の反復的探究構造」, 日本教材学会第24回研究発表大会, 福山平成大学, 2012年10月20-21日.
- ・小泉友香「熟練教師による一連の数学科授業にみる教授行動の特徴—授業者と学習者の知覚に焦点をあてて—」, 日本数学教育学会第45回数学教育論文発表会, 奈良教育大学, 2012年11月10-11日.

篠崎正典 (社会科教育学)

〈編著書〉

- ・「愛媛県松山市立野忽那小学校における社会科地域学習の意義—『人や地域とのかかわり合い』に基づく取り組み—」, 井田仁康編著, 『地域と教育—地域における教育の魅力—』, 2012年11月, 第1版, 学文社, 263頁, 63-76頁.

〈論文〉

- ・「東京第二師範学校男子部附属小学校における『作業単元』の導入過程—文部省教科書局実験学校による社会科単元指導計画作成の役割—」, 『カリキュラム研究』(日本カリキュラム学会) 第21号, 2012年3月, 1-14頁.

- ・「1947年度指定文部省教科書局実験学校における社会科教育の実施過程—長野師範学校男子部附属小学校による社会科単元指導計画の修正に着目して—」, 『中等社会科教育研究』(中等社会科教育学会) 第30号, 2012年3月, 29-42頁。

〈研究・調査報告書〉

- ・「榑原学園における地域学習のカリキュラム開発—『総合的な学習の時間』の指導計画作成と実施に着目して—」, 井田仁康・「社会科教育学特講」調査報告, 『地域と教育—高知県榑原町—』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科学学校教育学専攻), 第11号, 2012年11月, 126頁, 56-78頁。

〈学会発表〉

- ・「東京第二師範学校男子部附属小学校における社会科単元指導計画作成の特質—『文化活動』『自治活動』『復興活動』との関連に着目して—」, 日本カリキュラム学会第23回大会, 中部大学, 2012年7月7日。
- ・「東京第二師範学校男子部附属小学校における社会科単元指導計画の修正—1947年度文部省教科書局実験学校による社会科実施過程の一端—」, 日本社会科教育学会第62回全国研究大会, 東京学芸大学, 2012年9月30日。
- ・「1947年度指定文部省教科書局実験学校における低学年社会科の実施過程—長野師範学校男子部附属小学校による低学年社会科の『総合授業』化に着目して—」, 全国社会科教育学会第61回全国研究大会, 岐阜大学, 2012年10月21日。

辻山洋介 (数学教育学)

〈論文〉

- ・「学校数学の証明の構成における蓋然的な論の検討の方法：argumentationを視点として」, 『科学教育研究』(日本科学教育学会発行), 第36巻第4号, 2012年12月, pp. 340-355.

〈学会発表〉

- ※“Characterization of proving processes in school mathematics based on Toulmin's concept of field”. 第12回数学教育世界会議 (The 12th International Congress on Mathematical Education), COEX (ソウル), 2012年7月10日。(論文集の pp. 2875-2884に掲載)

宮本直樹（理科教育学）

〈学会発表〉

- ・「理科教育におけるデータ解釈の指導法－ Learning and Assessing Science Process Skills を中心にして－」, 日本理科教育学会第62回全国大会, 鹿児島大学, 2012年8月11日
- ・「小学校理科教科書の化学分野におけるデータ解釈の記述分析」, 教育実践学会第20回大会, 常盤大学, 2012年11月18日

村井大介（社会科教育学）

〈編著書〉

- ・「卒業生は地場産業の体験学習をどのように意味づけているか－利島小中学校卒業生への聴き取りを通して－」井田仁康編著『地域と教育－地域における教育の魅力－』, 2012年11月, 学文社, 38－51頁.

〈研究・調査報告書〉

- ・「地域の伝統芸能を学校教育に取り入れる意義と課題－高知県梶原町の小中学校における津野山神楽の学習を事例にして－」, 筑波大学博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻「社会科教育学特講」調査報告, 『地域と教育』第11号, 2012年11月, 101－125頁.

〈学会発表〉

- ・「公民科教師の形成する教科観の特徴」, 日本公民教育学会, 東北大学, 2012年6月23日.
- ・「社会科教師の専門性の捉え方に関する一考察－社会科教師の専門性に関する言説と教師自身による語りの対比から－」, 日本社会科教育学会, 東京学芸大学, 2012年9月30日.

柳本高秀（理科教育学）

〈学会発表〉

- ・「中学生の日食・月食現象に関する認識」, 日本理科教育学会第62回全国大会, 鹿児島大学, 平成24年8月11日

山本容子（理科教育学）

〈論文〉

- ・「高校生の環境倫理意識の実態—生態学的環境を中心として—」, 『理科教育学研究』(日本理科教育学会), 第53巻, 第2号, 2012年11月, 343-358頁

〈その他〉

- ・「BSCS 生物教科書 A Human Approach における生態学カリキュラムの特質」, 『日本科学教育学会研究会研究報告』(日本科学教育学会), 第26巻第5号, 2012年4月, 19-24頁

梁 炳逸（社会科教育学）

〈編著書〉

- ・「小学校・中学校の子どもにおける空間認識」, 井田仁康編著, 『地域と教育 - 地域における教育の魅力 -』, 2012, 学文社, pp. 51-62.

〈論文〉

- ・「小学校・中学校の子どもにおける空間認識—枹原学園の児童・生徒を対象として—」, 『地域と教育』, 11, 2012, pp. 33-43.

呂 光暁（社会科教育学）

〈学会発表〉

- ・「経済理解における素朴理論に関する研究」, 中等社会科教育学会, 筑波大学文科系修士棟, 平成24年11月3日

渡会陽平（数学教育学）

〈論文〉

- ・「小学校算数科における乗除法の意味に関する学習課程の分析 -G.Vergnaud の概念野理論を枠組みとして-」, 『数学教育学論究』(日本数学教育学会), 第93巻 Vol. 97・98, 2012年8月, pp. 3-16.

〈学会発表〉

※“An Interpretation of Student’s Cognition to the Meaning of Multiplication by a Decimal”, The 12th International Congress on Mathematics Education (ICME-12) Seoul, Korea, 2012年7月14日.

※“An Analysis of Student’s Cognition to the Meaning of Multiplication by a Decimal”, Conference of the International Group for the Psychology of Mathematics Education (PME36), Taipei, Taiwan, 2012年7月19日.

・「乗法の意味に関する児童の理解の様相の分析—1あたりの大きさを示さない問題場面における解決の手続きに焦点をあてて—」, 第45回数学教育論文発表会 (日本数学教育学会), 奈良教育大学, 2012年11月11日.